

アルコールストーブの製作



さまざまなストーブの作り方が公開されていますが、ここでは1本の空き缶から作る方法を紹介します。

材料は350mL のアルミ缶だけです。副室を作り、その中でアルコールを気化させ、小さな穴から噴出させることで、勢いのある燃焼をさせることができます。

2021・04・11 XRQTechLab



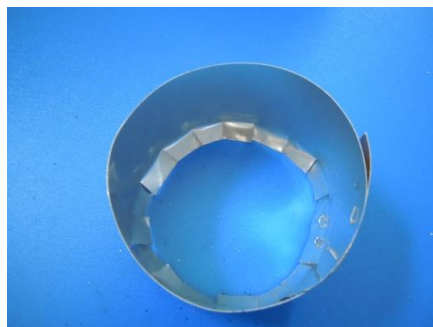
空き缶から3つの部品を切り出します。予め上の蓋の部分は切り取っておきます。所定の長さで上の部分と底の部分を切り取ります。残りの部分から副室を作るためのテープを切り出します。

副室は上の口金に合うようテープを丸め、底に当たる部分に切れ込みを入れて、隙間のないようにぴったりと口金の内側に差し込むようにします。

口金の少し下側、肩の上あたりに1mmから2mmφほどの噴出孔を16個ほど開けておきます。



3つのパーツ



下側に切れ込みを入れたテープ



噴出孔を開けておく



底のパーツにはひだを入れておく



3つのパーツを組み合わせる



少しずつ力を加えしっかりと合わせる